

岐阜武専 2025年6月度 進行表

時間	内容	会場	担当	備考	昇段試験
				送迎：なし	
8 : 30 (30分)	機材搬入⇒学生入場	1F競技場		責任者：高橋先生	
9 : 00 (25分)	作務・出席点呼	1F競技場	学生		
9 : 10 (15分)	教員・講師・講師補集合、打合せ	会議室	講師・講師補	日程確認等	
9 : 25 (15分)	鎮魂行	1F競技場	主座：帆山先生 打棒：横山先生	太鼓：なし	
9 : 40 (10分)	ユニティー運営委員会委員長挨拶	1F競技場	委員長挨拶：松久先生 代行：古川勝先生		
9:50 (5分)	休憩・準備				
9:55～ (45分)	【1時限】講義1 少林寺拳法師家講話	1F競技場	松原		
10 : 40 (10分)	休憩				
10 : 50～ (45分)	【2時限】講義2 グループディスカッション 指導者養成基礎講座① 審判員の技術向上	競技場前 競技場中 競技場後	帆山先生 横山先生 永田先生	机・ホワイトボード・ペン	
11:35～ (30分)	昼食・昼休み (食事は、指定された場所でお願ひします)	会議室			
12:05～12:35 (30分)	技術確認	1F競技場	講師・講師補		
12:45 (10分)	準備体操	1F競技場	松原		
12:55～ (30分)	【3時限】全体基本	1F競技場	永田先生		
13:25 (5分)	休憩				
13 : 30～ (80分)	【4時限】実技1 指導者養成コース 指導者コース（研究クラス） 指導者コース（所属長クラス）	競技場前 競技場中 競技場後	帆山先生 横山先生 永田先生		
14:50 (5分)	休憩				
14:55～ (60分)	【5時限】実技2 指導者養成コース 指導者コース（研究クラス） 指導者コース（所属長クラス）	競技場前 競技場中 競技場後	帆山先生 横山先生 永田先生		
15 : 55～ (15分)	終礼・総評	1F競技場	代行：古川勝先生	太鼓：なし	
16:10～ (5分)～	作務・解散 終了	1F競技場 1F競技場	指導者養成コース 指導者コース	作務・解散 終了	
	講師・教務反省会	会議室	講師・講師補		
16:15	終了			送迎：なし	

第2回(2025年6月度)技術科目表

【3時限】全クラス共通

基本実技	基本科目	指導担当
全体基本	振子突(単・連) 体捌を用いた防技 上段突攻撃に対する防技 白蓮第一系	永田先生

	クラス	技術科目	指導担当
指導者養成コース	初段クラス	天王拳: 逆転一、対天一 五華拳: 引天秤、逆引天秤	帆山先生
	二段クラス	三合拳: 中段返 天王拳: 蹴天一～掬投 龍華拳: 諸手切返投 巻込小手	帆山先生
	三段クラス	三合拳: 中段返、払受蹴 五華拳: 問外天秤、天秤投	帆山先生
	四段以上クラス	天王拳: 逆天一、対天一 羅漢拳: 四組腰投、四組内天秤、前髪捕 羅漢圧法: 肩甲攻、脇陰攻	帆山先生
指導者コース	研究クラス <small>拳士と四段以下の所属長</small>	各地区の状況に応じて以下の内容から選択して実施するものとする。 ○従前からの「身心改造に向けた人づくり」をテーマにした内容。 「三徳兼備の少林寺拳法を極める」「教義＝技＝日常全てが一致する少林寺健保を極める」「力愛不二(調和)の思想を拳禅一如の修練を通して身に付ける少林寺拳法を究める」 ○四段以上クラスの内容。○各地区でテーマ設定をした内容。	横山先生
	所属長クラス <small>五段上の所属長</small>	考試員講習会の実習科目の復習を行う。また、その後に自身の修練を行う場合の参考として以下の科目を記す。【考試員講習会の実習科目】半月蹴、払受蹴、逆轉身蹴、諸手押抜、小手巻返、送片手投【羅漢拳・羅漢圧法】四組腰投、四組内天秤、肩甲攻	永田先生

【5時限】実技2

	クラス	技術科目	指導担当
指導者養成コース	初段～三段	○演武研究 ・昇格考試の組演武、もしくは自由組演武の演武組成を行うとともに、演武の修練を行う。なお、できれば複数の人と行い、技量の幅を広げる ・質疑応答	帆山先生
	四段以上	○演武研究 ・指導者養成コース(初～三段)の内容を行う。審判員資格を持っている者は、審判の審査実習を兼ねて取り組んでも良い。 ・質疑応答	帆山先生
指導者コース	研究クラス <small>拳士と四段以下の所属長</small>	○演武研究 ・指導者養成コース(初～三段)の内容を行う。審判員資格を持っている者は、審判の審査実習を兼ねて取り組んでも良い。 ・質疑応答	横山先生
	所属長クラス <small>五段以上の所属長</small>	○演武研究 ・指導者養成コース(初～三段)の内容を行う。審判員資格を持っている者は、審判の審査実習を兼ねて取り組んでも良い。 ・質疑応答	永田先生